

水産普及だより



第1号 平成27年6月30日発行 沖縄県水産海洋技術センター普及班
沖縄県糸満市喜屋武1528 TEL098(852)4532
ホームページ <http://www.pref.okinawa.jp/fish/>

ご挨拶

漁業関係者の皆様、常日頃より水産普及行政へのご理解とご協力、誠にありがとうございます。水産普及センターは、平成25年に水産海洋研究センターと合併し、水産海洋技術センター普及班となり、2年がたちました。遅ればせながら、ここに新年度のご挨拶を申し上げます。第1号では、新たに赴任した普及指導員を中心に紹介させていただき、現場巡回の折には気軽にお声かけいただければ幸いです。また喜屋武へもぜひお越しください



新任:普及班長 兼
革新支援専門員
久保弘文

普及班本部駐在 普及指導員 上原匡人



初めての普及員として、北部担当になりました。これまでパヤオ整備、水産資源などの業務でしたが、4月からは新たに海ぶどうや魚類養殖も担当することになりました。一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。

宮古支庁 普及指導員 吉田 聡



16年目で初の宮古勤務となりました。これまで八重山4年、県庁7年、北部4年の勤務を経験し、シャコガイ、海ぶどう、魚類養殖に携わりました。漁業者の皆様どうぞよろしくお願いいたします。

宮古支庁 普及指導員 上原祐大朗



平成26年から宮古農林水産振興センターに赴任している上原です。平成22年度、水産課採用で、6年目です。漁業者の皆様が「漁業者になって良かった」と思えるよう、お手伝いをしていきたいので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

八重山支庁 普及指導員 赤嶺貴史



八重山での普及員1年目です。県庁水産課で4年ほど販路拡大・加工事業等に携わりました。新米のため、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、皆様のお役に立てるよう頑張ります。

普及班 技師 米丸浩平



昨年度新採用で普及班へ技師として着任しました。兵庫出身で、沖縄では学生時代に年数回潜っていました。ダイビングでの経験も生かし、皆様の助言を頂きながら、お役に立てるよう精進して参ります。

県庁水産課 普及事業担当 高橋晶子



海産物が好き、沖縄が好きで、4月に神奈川県逗子市より参りました。未熟者ですが、笑顔で頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。普及事業以外に後継者育成マリンパワー事業を担当しています。

トピック「県産水産物の海外販促に向けた輸送試験」

普及班

主任技師(普及指導員) 牧野清人

養殖ハタ類の国際的産地形成推進を目的とし、平成26年9月から27年3月にかけて、沖縄ミーバイ(ヤイトハタ)活魚の香港、シンガポール向け水無し輸送試験を行いました。1回目の香港輸送では輸送前の状態や扱い方の原因により失敗しましたが、2回目、3回目の輸送で生残率90%以上、シンガポール向けでは2回共に100%の生残率となりました。これにより、沖縄ミーバイ活魚の海外向け輸送に活路が見いだせました。



ヤイトハタ活魚の梱包



シンガポール到着後

また、こうした輸送方法を応用し、平成27年6月には、シンガポールへの活クルマエビ輸送試験を行いました。到着から翌日までの生残率は約70%となり、温度保持、輸送時間等、要改善点がありますが、今後の可能性に期待できます。



活クルマエビの梱包(久米島)



シンガポール到着後